

一般質問『その後』を追跡!!

議会報では、定例議会毎に一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたのか、質問の一部を追跡しました。
(平成17年3月～12月)

広域行政実施の考えは 3月定例会

行政サービスの維持・効率化を推進する目的での、周辺自治体との連携を図り広域行政実現の考えは。

町長答弁

前向きに取り組んで行く

現在、一部実施しているが、1市8町での取り組みも検討している。また、庁内で助役を中心に担当課長を含めた検討会を開催している。

その後...

広域連携を検討中

管内で出したランドデザインに沿って、1市8町での広域行政の協議を進めている。消防や税等の徴収組織などについても、具体的な検討を続けている。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

連絡先：鷹栖町議会事務局
TEL 0166-87-2111(内301)
メール gikai@town.takasu.hokkaido.jp

教育委員会の移転と図書室の 充実は 12月定例会

教育委員会を役場庁舎内への移転計画は。図書室の充実と整備計画は。

町長・教育長
答弁

18年度中に移転計画の予定

教育委員会は町民の利便性からも役場庁舎内が最適と考えて移転する予定。図書室は教育委員会跡を改修し、子供達の居場所づくりなども含めて活用方法を協議する。

その後...



町民の協力により完成

教育委員会は5月1日に役場庁舎内への移転を完了。空き室の利用については、ボランティアの方々による協力で図書室・子供の居場所として10月10日にオープンした。

ごみの減量対策は 12月定例会

町財政・環境問題の観点からもごみの発生抑制・リサイクルでの資源化推進等が、重要な課題ですが、今後の取り組みは。

町長答弁

100g減量運動の更なる推進

「ごみ減量推進懇談会」を組織して検討している。日頃の生活の視点から、減量・分別の取組みを強化して、1日1人100gの減量運動を更に推進するように努力する。

その後...

住民目線でのごみ減量化

「ごみ減量推進懇談会」からのアイデアや意見をまとめ、住民目線でのごみ減量化・分別方法について広報・パンフレット等で周知し関心を高めている。併せて、廃食用油の再利用を実施して、より一層ごみの減量化を推進している。



児童・生徒の安全対策は 16年12月(再追跡)

近年、児童・生徒を巻き込んだ犯罪が多発しているが、本町における危機管理体制と安全対策の方策は。

教育長答弁

安全確保に万全を期す

生徒指導連絡協議会を中心に安全確保に万全を期します。登下校時の安全対策として、町内31か所に避難連絡所を設置している。

その後...

「避難連絡所」の設置・整備

避難連絡所を31か所から48か所に増設。目印として黄色い「SOS」の旗を立てているが冬期間にも確認できるようにパネルを掲示予定。

再追跡...

避難場所の増設と パトロールの強化

避難連絡所の表示旗を新しく更新し、避難所を48か所から85か所に増設。防犯協議会と連携して、青色防犯パトロールの実施と防犯パトロール隊などで声かけ運動を実施している。

AED(自動対外式除細動器) の導入計画は 12月定例会

突然死の原因の多くは心室細動の病気で、一刻も早い一次救命処置とAEDによる除細動の蘇生処置が有効な手段であるが、AED導入と教職員や生徒を対象とした「救命教育」の考え方は。

町長・教育長
答弁

必要な施設に配置を協議する

平成17年度より救急車に配備しているが、更に精度の高い機器を救急車に搭載予定。施設への導入は関係者と協議する。「救命教育」については、今後も更に検討していく。

その後...



今後も段階的に実施する

救急車には更に精度の高いAEDを配備、また、総合体育館・鷹栖中学校にも設置した。救命教育は、学校や教育施設等の関係者への研修を実施している。今後はスポーツ指導者や団体等にも実施する予定。

公共用地の利用計画は 6月定例会

鷹栖南2条2丁目の公共用地は現在、工事残土置場や雪の堆積場として使用しているが、将来の構想は。

町長答弁

有効利用を検討する

過去には、サッカーや陸上のほかに自由に芝生を楽しむ施設を想定していたが、鷹栖高校のグラウンドが道より返還されたので、教育委員会とも連携して有効利用や景観面も含めて検討する。

その後...

関係者と検討を継続

町の投資的事業の中で、緊急に着手する事業との位置づけに至っていない。今後も関係団体や町民の協力を得て、教育委員会とも連携し、具体的な構想づくりを進める。

平成18年11月6日 発行
発行 / 鷹栖町議会議員会
編集 / 議会報特別委員会